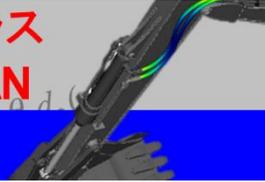


第3回 IPS Cable Simulation ユーザーカンファレンス in JAPAN



2018年10月25日(木) フクラシア丸の内オアゾ



この度、IPS Cable Simulationユーザーカンファレンスを開催する運びとなりましたので下記にてご案内申し上げます。

本カンファレンスでは、国内ユーザー様の先進的な活用事例をはじめ、開発元である独fleXstructures社からCEOが来日し最新トピックスをご紹介いたします。

また、今回はヨーロッパ最大かつ最先端の応用技術研究機関でありIPS Cable Simulationの開発パートナーでもある独フラウンホーファー研究所からキーパーソンが来日しキーノートスピーチも行います。

導入ユーザー様はもちろん、導入ご検討中の企業様にとっても、ご満足いただける内容となっております。ご多忙の折誠に恐縮ではございますが、是非ご来場賜りたくご案内申し上げます。

◆開催日時

2018年10月25日(木) 13:00-16:55 (12:15受付開始)
17:00-18:30 (懇親会)



キーノートスピーチ (逐次通訳)

独 フラウンホーファー研究所
(ITWM研究所)

耐久性動力学部門長
クラウス・ドレスラー氏



ユーザー事例発表①

コベルコ建機株式会社様

グローバルエンジニアリングセンター
岡田修自様、秋嶋彩那様

ユーザー事例発表②

川崎重工業株式会社様

モーターサイクル&エンジンカンパニー
企画本部 オペレーション企画統括室
田中 一輝様

fleXstructures セールス&テクニカルトピックス
開発ロードマップ・新バージョン・新プロダクト

fleXstructures GmbH

最新トピックスのご紹介

SCSK株式会社

※プログラムの内容は予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

- ◆開催場所 : フクラシア丸の内オアゾ (JR東京駅丸の内北口、裏面ご参照ください)
- ◆入 場 : 無料・事前登録制 (定員200名)
- ◆お申込み : [弊社webサイト](#)よりお申込みください。
※詳細は裏面のご案内をご覧ください。

◆フラウンホーファー研究機構

欧州最大の応用研究機関であるフラウンホーファー研究機構は、民間企業や公共機関向け、また社会全体の利益を目的として、実用的な応用研究を行っています。ドイツ各地に72の研究所を構え、およそ25,000名のスタッフが活動しています。年間研究費総額は約23億ユーロ（約3000億円）にのぼります。研究費総額の70%以上が民間企業からの委託契約、約30%はドイツ連邦政府および州政府により資金提供が行われています。

◆フラウンホーファーITWM研究所

1995年に設立されたフラウンホーファー研究機構を構成する研究所の1つであり、技術・経済数学をテーマとした研究を行っています。年間研究費総額は約2500万ユーロ（約33億円）となり450名を超えるスタッフが研究を行っています。9の研究部門の一つとなる耐久性動力学部門は、IPS Cable Simulationの要素技術を開発した研究部門であり、現在もfleXstructures社の開発パートナーとしてIPS Cable Simulationの製品開発に携わっています。

【会社名、製品名は、各社または、各団体の商標もしくは登録商標です】



◆会場のご案内

フクラシア丸の内オアゾ

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

<<https://www.fukuracia.jp/marunouchi/>>

交通：JR「東京」駅 丸の内北口目の前、丸ノ内線東京駅直結 東西線大手町駅直結

◆お申し込み

弊社webサイトよりお申込み下さい。

2018年10月25日(木) <http://www.scsk.jp/event/2018/20181025.html>

※本セミナーの対象とならない方、同業他社の方はお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆本イベントに関する問い合わせ先

製造エンジニアリング事業本部 解析ソリューション第一部 IPSUC2018事務局

TEL：03-5859-3012 Email：ips-sales@ml.scsk.jp